

# ドキュメンテーション展

文部科学省では、5歳児から小学校1年生までの2年間で「架け橋期」とし、この時期の学びの連続性を確保するための取組を進めています。甲州市においても令和5年度に「甲州市幼児教育推進協議会」を立ち上げ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の促進をテーマとして協議を重ねてきました。

令和6年度には、保護者の皆様、幼児教育関係者、小学校教育関係者の思いを反映した「甲州市架け橋カリキュラム」を山梨大学 大野歩 教授のご指導、ご助言のもと作成することができました。このカリキュラムは、「架け橋期」にふさわしい主体的、対話的で深い学びの実現を図り、**すべての子どもに学びや生活の基盤を育むこと**を目指しています。

令和7年度には、「甲州市架け橋カリキュラム」の実践化に向けて、それぞれの幼児教育施設、小学校の特色を生かしながら、「**学びの芽から学びへ**」を合言葉に、子どもたちの学びの姿をドキュメンテーションとして可視化し、学びの連続性を具体化する取組を推進しています。

この「ドキュメンテーション展」は、指導者が大切にしている子どもたちの学びの姿を、地域の皆様、保護者の皆様と共有し、立場を越えて連携する協力体制の構築につなげることを目的として開催いたしました。

これからも子どもたちの健やかな成長のために手を携え取り組んで行けますよう、ご協力をお願いいたします。

## 甲州市幼児教育推進協議会の取組

令和5年度  
(1年目)

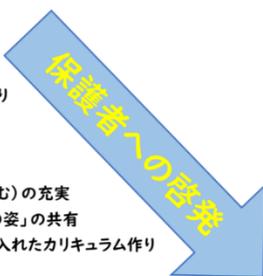
- ・幼児教育推進協議会の発足
- ・保育所・こども園と小学校の関係づくり
- ・子どもの育ちに関する視点の学習

令和6年度  
(2年目)

- ・交流活動(参観含む)の充実
- ・「育みたい子どもの姿」の共有
- ・共通の視点を取り入れたカリキュラム作り

令和7年度  
(3年目)

- ・互恵性のある交流活動の継続
- ・カリキュラムの実施・評価・改善
- ・架け橋期の配慮を必要とする子どもへの支援



令和7年6月17日(火)第1回協議会



## ドキュメンテーション作成の目的



園・小学校の中で子どもの学びの姿を交流→指導者が学び合い、指導に活かす



実務者会議での情報交換により、育みたい子ども像を具体化していく



保護者との共有により、保育・教育で大切にしている内容についての理解を図り、協力体制の構築に繋げる



令和7年7月22日(火)実務者会議